# 令和8年度募集　各種奨学金について

＊　**申請方法をタップすると必要書類が得られます。**

＊　直接応募の場合は大学院係に応募の旨を申し出る必要はありません。

＊　大学院係提出の場合は、提出書類に漏れがないか確認して期限内に必ず提出してください。

＊　採用された際は、大学院係までご連絡ください。

2026/11/19

| No. | 状況 | 奨学金名 | 対象 学年 | 対象 大学院 | 応募資格 | 給/貸 | 給付期間 | 月額(年額) | 併給可否 | 募集人数 | 申請方法 | 締切 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 募集 | 大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度) | ● | ● | (1)全国大学生協連に加入する会員生協のある学校に在籍している大学生、大学院生<br>(2)CO・OP学生総合共済の加入者である大学生、大学院生<br>(1)(2)のいずれかに該当する期間中に扶養者が死亡し該当期間中に応募する学生<br>※扶養者死亡日から1年以内の応募に限る | 給付 | 1回 | 【一括給付】<br>12万円<br>※扶養者が死亡されてから卒業まで5カ月以内の場合は1カ月につき2.4万円も割合で給付 | － | － | 一般財団法人 全国大学生協連奨学財団（たすけあい奨学制度） | 随時 |
| 69 | 募集 | 公益財団法人<br>和田育英財団 | ● | | (1)鹿児島県内に本籍及び住所を有する者の子弟で日本国内にある大学に在学する者<br>(2)学業優秀・品行方正でありながら経済的理由により修学継続が困難な者 | 貸与<br>（無利子） | 正規就業期間 | 5万円<br>または<br>10万円／月 | － | 若干名 | 奨学生募集／公益財団法人 和田育英財団 | 随時 |
| 82 | 募集 | 公益財団法人鹿児島県育英財団大学等奨学金返還支援【日本学生支援機構貸与奨学金返還支援】 | B3 | M1 | 鹿児島県内の高等学校等を卒業する者で以下の条件にいずれも該当する者<br>(1)現在、大学または大学院に在学し、次年度中に卒業(修了)予定の者(大学3年生または大学院1年生)<br>(2)日本学生支援機構第一種奨学金もしくは鹿児島県育英財団大学等奨学金の貸与を受けている者、又は受けていた者<br>(3)大学等卒業後、鹿児島県内企業等に就業する意思が有り、かつ県内居住を希望する者<br>※公務員は除く | 支援金を受取り自分で返還 | － | 就業年月に応じては全額 | － | 20人程度 | 鹿児島県育英財団JASSO返還支援 | 直接応募<br>11月30日(月)必着 |
| 95 | 募集 | ガクシー財団 | | ● | 以下すべての条件を満たす者<br>(1)日本国内の大学院に在籍する修士課程、博士前期課程、または博士後期課程の学生であること<br>(2)理学、工学、情報科学、生命科学、環境科学その他これらに関連する理系分野を専攻していること<br>(3)募集年度において、正規の大学院生として在籍していること<br>(4)学業及び研究活動に意欲的に取り組んでいること<br>(5)本奨学金における所定の報告および交流機会に協力できること | 給付 | － | 60万円 | 可 | 10名程度<br>（全国） | 理工系大学院生向け奨学金 ～社会課題解決につながる研究テーマを応援します～ – 公益財団法人ガクシー財団 | ガクシー | 直接応募<br>12月18日(金) |
| 93 | 募集 | 一般財団法人<br>荒井芳男記念財団 | ● | | (1)2026年4月1日現在、日本の4年制大学の1年以上に在籍する大学生<br>(2)学部・学科は機械系、工学系、化学系、電気系である者<br>(3)2026年4月1日現在で23歳以下である者<br>(4)2026年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する者<br>(5)最短修業年限にて卒業見込みがある者<br>(6)過去に当該財団の助成金を受給していない者<br>(7)当該財団の奨学生で無い者<br>(8)学業優秀であり、品行方正である者<br>(9)経済的支援を必要とする者<br>(10)報告書等、提出書類を期日までに提出できる者 | 給付 | 最短修業年限 | 20万円 | － | 35名程度<br>（全国） | 一般財団法人「荒井芳男記念財団」 | 直接応募<br>12月18日(金)<br>当日消印有効 |
| 76 | 募集 | 三重県政策企画部【奨学金返還支援】 | B3・B4 | M1・M2・D2・D3 | (1)35歳以下（R9/3/31時点）で三重県内での居住かつ就業<br>・学生の場合<br>大学、大学院の最終学年とその1年前の学年の方<br>・既卒者の場合<br>三重県外に居住しており、かつ三重県内で就業していない方<br>※公務員は除く | 寄付金を受取り自分で返還 | － | 上限100万円まで | － | 約150名<br>（三重県内） | 三重県 | 総合計画等：三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業 | 直接応募<br>12月18日(金) |
| 96 | 募集 | 一般財団法人<br>横山教育財団 | | 進学予定のM2 | (1)博士前期課程の2年次に在籍し、2027年4月に博士後期課程に進学することが決定している大学院生<br>(2)日本国内に居住し、日本国籍を有していること<br>(3)企業・団体等に勤務し、給与その他これに類する継続的な収入を得ていない者<br>※社会人として就業しながら大学院に在籍している者は対象外。ただし、学生として行うアルバイト等についてはこの限りではない。 | 給付 | 3年間 | 48万円／年 | － | 15名程度<br>（全国） | 横山教育財団 | 大学院係<br>1月18日(月)<br>15時 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 59 | 終了 | 一般財団法人<br>東洋水産財団<br>（森記念奨学金） | ● | ● | 日本国内の大学および大学院に在学しているもので、かつ食品科学に関する分野を専攻、研究している者のうち、経済的に学業の継続が困難で学業・人物ともに優れた者と認められる者 | 給付 | 1年間 | 7万円/月 | 可 | 工学部より6名 | 東洋水産(森記念)財団 | 大学院係<br>6月11日(木)<br>15時 |
| 2 | 終了 | 公益財団法人<br>キーエンス財団 | B1 | | 以下いずれも該当する者<br>(1)2026年4月に日本の大学に入学する者<br>(2)2026年4月1日現在、20歳以下である者<br>(3)経済的な支援を必要とする者 | 給付 | 4年間 | 12万円/月 | 一部可 | 1500名<br>（全国） | 奨学金キーエンス財団 | 直接応募<br>4月3日(金)<br>10時まで |
| 3 | 終了 | 公益財団法人G-7奨学財団 | ● | ● | 学力優秀でありながら、経済的理由により学業継続が困難な大学生及び大学院生 | 給付 | 標準修業年限 | 上限120万円 | 可<br>※支給額減額の可能性有 | 110名<br>（全国） | G-7奨学金 | 大学院係<br>4月6(月)<br>17時 |
| 4 | 終了 | 公益財団法人<br>壽崎財団法人 | ● | ● | (1)申請者と生計をともにしている家族で主たる生計を維持している者が九州地方に居住していること<br>(2)県内に所在する大学に在学し、人物学業ともに優れ、かつ健康で奨学資金の支給が必要と認められた者 | 給付 | 1年間 | 2万円/月 | 可 | 30～40人<br>（鹿児島県内） | 壽崎育英財団 | 大学院係<br>4月7日(火)<br>17時 |
| 5 | 終了 | 公益財団法人<br>CTC未来財団 | B1 | | 以下すべてに該当する学生<br>(1)本財団の対象大学に2026年4月入学する者<br>(2)2026年4月1日時点で20歳以下であること<br>(3)本財団が別途定める学力基準、家計基準を満たす、品行方正、学業優秀者<br>(4)修学状況および生活状況を適時報告できること<br>(5)ITを通じて社会貢献のために勉学に励んでいる者 | 給付 | 最短修業期間 | 6万円/月 | 可 | 約20名<br>（全国） | CTC未来財団 | 大学院係<br>4月10日(金)<br>17時 |
| 6 | 終了 | 公益財団法人<br>吉田育英会<br>（ドクター21） | | M2 | 以下すべてを満たす者<br>(1)日本国籍を有する者<br>(2)2026年4月1日現在において30歳未満である<br>(3)2026年4月1日現在、博士前期課程に在学の者<br>(4)2026年秋季又は2027年春季に博士後期課程に入学予定の者<br>(5)日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する者 | 給付 | 3年以内 | 学部生：25,000円<br>院生：30,500円 | 一部可 | 本学より1名 | 公益財団法人吉田育英会 | 直接応募<br>4月10日(金)<br>17時 |
| 7 | 終了 | 公益財団法人<br>佐藤奨学会 | ● | ● | 大学または大学院に在学し、学業、人物とも優秀で、かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者 | 給付 | 最短修業期間 | 学部生：25,000円<br>院生：30,500円 | 可 | 本学より1名 | 佐藤奨学会 | 大学院係<br>4月10日(金)<br>17時 |
| 8 | 終了 | 一般財団法人<br>楠田育英会 | B2・B3・B4 | | (1)大学新2年次以上に在学し、学業・人物ともに優秀かつ健康で学費の支弁が困難と認められている者<br>(2)事故の専門分野の知識及び経験を生かして将来社会に寄与する志しを有する者<br>(3)知識及び経験を社会で生かすため、或いは社会に寄与することを目指し学内外での活動・ボランティア活動等の実践活動を積極的に行っている者 | 給付 | 最短修業期間 | 3万円/月 | － | 20名<br>（全国） | 楠田奨学会 | 大学院係<br>4月10日(金)<br>17時 |
| 9 | 終了 | 公益財団法人G-7奨学財団 | B1 | | 学力優秀でありながら、経済的理由により学業継続が困難な大学生及び大学院生 | 給付 | 標準修業年限 | 上限120万円 | 可<br>※支給額減額の可能性有 | 110名<br>（全国） | G-7奨学金 | 大学院係<br>4月13(月)<br>12時 |
| 10 | 終了 | 一般財団法人<br>上田記念財団 | B3 | M1 | (1)土木工学系の学生で、将来土木工学を活かした職業に就職する意志がある者<br>(2)学部3年生(23歳未満)または修士課程1年生(25歳未満)に進学する者であること<br>(3)財団の奨学生行動基準を守ることが出来ること　等 | 給付 | 2年間 | 6万円/月 | 可 | 本学より学部生2名、修士生1名 | 上田記念財団 | 大学院係<br>4月13日(月)<br>17時 |
| 11 | 終了 | がんばれ！日本の大学生応援給付金<br>（公益財団法人<br>キーエンス財団） | B2・B3・B4 | | 以下すべてを満たす者<br>(1)日本の大学に在籍する大学生(新1年生を除く)である者<br>(2)2026年4月1日現在、23歳以下である者<br>(3)最短修業年限にて卒業の見込みがある者<br>(4)昨年までの「がんばれ！日本に大学生」を受給していない者<br>(5)当財団の奨学生では無い者<br>(6)勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生 | 給付 | 最短修業期間 | 【一時金】<br>30万円 | 一部可 | 5000名<br>（全国） | 応援給付金｜キーエンス財団 | 直接応募<br>4月15日(水)<br>10時まで |
| 12 | 終了 | 宮崎県育英資金 | ● | | (1)主たる生計維持者が宮崎県内に居住していること<br>(2)・大学に在学していること<br>・向上心に富み優れた素質を有する学生で経済的に困難で在学する学校長が推薦すること | 貸与 | 卒業するまで | 自宅外：<br>25,000円～50,000円 | 不可 | － | 宮崎県育英資金 | 大学院係<br>4月17日(金)<br>17時 |
| 13 | 終了 | 公益財団法人<br>木下記念事業団 | B2・B3・B4 | | (1)学業成績優秀かつ心身ともに健全である者<br>(2)経済的理由により修学が困難と認められる者<br>(3)他機関の給付奨学金を受給する予定のない者<br>※授業料免除等単発の奨学金は可能<br>(4)日本国籍を有する昼間部に通う学部2年生以上の者<br>(5)令和8年4月1日現在、25歳未満未婚の者 | 給付 | 標準修業年限 | 72万円/年 | 一部可 | 本学より1名 | 木下記念財団 | 大学院係<br>4月17日(金)<br>17時まで |
| 14 | 終了 | 公益財団法人<br>似鳥国際奨学財団 | ● | M1・M2 | 以下すべての項目を満たす者<br>(1)日本国内の大学・大学院に在籍する日本国籍の者、または在留資格が「永住者」「定住者」の者<br>(2)学部生は23歳以下、修士生は25歳以下である者<br>(3)成績目安としてGPA2.5以上(4.0点満点、入学※～2026年3月)<br>(4)世帯収入目安として900万以下(2025年1月～12月) | 給付 | 1年間 | 5～8万円/月<br>※IT人材奨学生として採用の場合月額8万円 | 不可 | 350名程度(新規・継続採用含む)※IT人材奨学生は最大60名 | 公益財団法人似鳥国際奨学財団 | 直接応募<br>4月20日(月) |
| 15 | 終了 | 公益財団法人<br>上野カネ奨学会 | ● | | 以下すべてに該当する者<br>(1)県内の大学に在学している女子学生<br>(2)鹿児島県に生活の拠点を有する者の子弟で、卒業後に学校(幼稚園)の教員を志望する女子学生<br>(3)学業成績、人物が優秀であるにも関わらず修学について経済的に困難と認められる女子学生 | 貸与<br>＋<br>給付 | | 51,000円/月 | － | 5名<br>（全国） | 推薦書<br>【上野カネ奨学会】2026年度奨学金 － 公益財団法人上野カネ奨学会｜ガクシー | 直接応募<br>4月20日(月)<br>17時 |
| 16 | 終了 | 公益財団法人<br>吉田育英会<br>（マスター21） | B4 | | 以下すべてを満たす者<br>(1)日本国籍を有する者<br>(2)2026年4月1日現在、27歳未満の者<br>(3)2026年4月1日現在、学部4年次に在学中の者<br>(4)自然科学分野を専攻する者 | 給付 | 2年間 | 月額8万円<br>又は<br>授業料等の名目として上限250万円 | 一部可 | 本学より1名 | マスター21 | 大学院係<br>4月21日(火)<br>17時 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 17 | 終了 | 北海道札幌市教育委員会 | ● | | 以下すべてを満たす者<br>(1)令和8年度に大学に在学している者<br>(2)生計維持者が札幌市に居住していること<br>(3)本人と生計維持者の資産合計額が2000万円未満（生計維持者が一人の場合は1250万円未満）であること<br>(4)直近1年間の全科目の評定の平均値が5段階で3.0以上である<br>(5)性行が善良であり、在学している学校から推薦を受けられる | 給付 | 継続採用有 | 6,000円/月 | 一部可 | － | 令和8年度札幌市奨学生（補充採用） | 大学院係<br>4月21日(火)<br>17時 |
| 18 | 終了 | 公益財団法人いであ環境・文化財団 | B2・B3・B4 | ● | 以下の項目を全て満たしている者<br>(1)R8.04.01現在、学部2年生以上の者(大学院博士課程を含む)で、大学正規課程において将来、環境保全分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること<br>(2)所属大学からの推薦を受けることが出来ること<br>(3)別途定める学力基準を満たしていること<br>(4)過去において、当財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと | 給付 | 1年間 | 【一括】25万円 | 可 | 30名程度（全国） | いであ環境文化財団 | 大学院係<br>4月21日(火)<br>17時 |
| 19 | 終了 | 一般財団法人角田奨学会 | ● | | 鹿児島県内に本籍及び住所を有する者の子弟で、鹿児島県内に所在する大学に在学する学生のうち、学業、人物ともに優秀であるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難と認められている者 | 貸与 | 1年間 | 15,000円/月 | 可 | 15名（鹿児島県内） | 角田奨学会 | 大学院係<br>4月21日(火)<br>17時 |
| 20 | 終了 | 一般財団法人岡部亨和奨学財団 | B2・B3・B4 | M1・M2 | (1)日本国内の大学・大学院に在籍する者<br>(2)2026年4月現在、大学2年生以上、大学院修士課程に在学する<br>(3)2026/4/2時点で、原則大学生は満24歳以下、大学院生は満34歳以下であること。留学生の場合、原則大学生は満31歳以下、大学院生は満38歳以下であること。<br>(4)成績基準はGPA(Grade Point Average)換算で3.0以上を原則と<br>(5)世帯年収基準は給与所得者について600万円未満、給与所得者については340万円未満が目安<br>(6)在学する学長、研究科長、専攻長、指導教官等の推薦する者<br>(7)学費の支弁が困難と認められる者<br>(8)心身ともに優れている者 | 給付 | 正規就業期間 | 30,000円/月 | － | 本学より2名 | 一般財団法人岡部亨和奨学財団 | 大学院係<br>4月22日(水)<br>17時 |
| 21 | 終了 | 加根又奨学会 | ● | | (1)鹿児島県内に生活の本拠を有する者の子弟で、大学に在学し、学業・人物ともに優秀かつ健康である者<br>(2)経済的理由により修学が困難と認められる者 | 貸与（無利子） | 正規就業期間 | 50,000円/月 | － | 5～7名 | 加根又奨学会 | 大学院係<br>4月23日(木)<br>17時 |
| 22 | 終了 | 三菱UFJ信託奨学財団 | 工学部B2 | | 下記項目すべてを満たす者<br>(1)財団主催行事への出席を優先出来る者<br>(2)財団の指定する大学かつ財団指定の学部に在籍してること<br>(3)最短修業年限までの給付期間が1年以上見込まれる者<br>(4)心身ともに健康で学業成績、人物ともに優れており在学する学校長等推薦する者<br>(5)将来、民間企業・宮内庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれからの活動に関連する学術の研究を志す者<br>(6)学費の支弁が困難と認められる者 | 給付 | 最短修業期間 | 7万円/月 | 可 | 本学より1名 | 三菱UFJ信託奨学金 | 大学院係<br>4月27日(月)<br>17時 |
| 23 | 終了 | 公益財団法人伊藤忠兵衛基金 | | D1 | (1)国立大学大学院に在籍する日本国籍を有する学生で、学長等の推薦を受けた者<br>(2)4月入学者対象 | 給付 | 3年間 | 60万円/年 | 可 | 本学より1名 | 伊藤忠兵衛 | 大学院係<br>4月27日(月)<br>17時 |
| 24 | 終了 | 公益財団法人日揮・実吉奨学会 | B2・B3・B4 | M1・M2 | 以下(1)～(11)全てに該当する者<br>(1)設立趣旨並びに奨学生の義務を理解している者<br>(2)日本国籍を有する者<br>(3)当財団が指定する大学、ならびに大学院生として在学し、理系の対象学位を取得予定の学生。学部、修士が対象。<br>(4)2026年4月2日現在、学部生は2年次以上に在籍する者とする。<br>・4年生学部の2年次以上に在籍する大学生：23歳以下<br>・大学院修士課程に在籍する大学院生：25歳以下<br>(5)大学より推薦を受けた者<br>(6)人物・学力共に優れ、かつ健康である者<br>(7)これまでの学歴も含め、申請時点で留年していない者<br>(8)給付対象期間を通じて現課程に在籍し、在学大学において通常の修学及び学生生活を継続している者<br>(9)経済的支援を必要としている者<br>(10)過去に当財団の奨学金へ応募していない者<br>(11)日本学術振興会特別研究員、科学技術振興機構、大学独自制度のうち現金が給付される支援を受けていない者 | 給付 | 1年間 | 【一括】45万円 | 可 | 本学より5名 | 日揮・実吉奨学会 | 大学院係<br>4月27日(月)<br>17時 |
| 25 | 終了 | 公益財団法人山本奨学会 | ● | | 鹿児島県内に本籍及び住所を有する者の子弟で鹿児島県内にある大学に在学中の者 | 貸与 | 1年間 | 2万円/月 | 一部可 | － | 山本奨学会 | 大学院係<br>4月30日(木)<br>17時 |
| 26 | 終了 | オークラ育英財団 | B2・B3・B4 | | 以下いずれも該当する者<br>(1)出願する年の4月1日現在、日本国内の4年制大学に在籍する大学2年生以上で、原則年齢が30歳以下であること<br>(2)日本国籍を有すること<br>(3)学表、人物、共に優秀であり、けんこうであること | 給付 | 1年間 | 3万円/月 | 可 | 20名（全国） | オークラ育英財団 | 直接応募<br>4月30日(木)<br>17時 |
| 27 | 終了 | 公益財団法人TAKEUCHI育英奨学会 | B2・B3 | M1 | (1)品行方正・志操堅固、健康で学業が優秀であること<br>(2)学資が豊かでないこと<br>(3)機械工学・電気工学・制御工学等の理工学系の大学・大学院生で長野県出身者<br>(4)2026年4月現在で、大学2、3年生、大学院1年生である者 | 給付 | 2年間 | 6万円/月 | 可 | 約70人 | TAKEUCHI育英奨学会 | 大学院係<br>4月30日(木)<br>17時 |
| 28 | 終了 | 公益財団法人米盛誠心育成会 | B3・B4 | | 下記すべての条件を満たす者<br>(1)県内の大学の技術系学科の新3・4年、大学院に在学している者で、卒業後に原則として県内に就職を希望する者<br>(2)県内に生活の本拠を持つ子弟で、経済的理由により今後の修学が困難な者<br>(3)学業・人物ともに優秀で、かつ健康である者 | 給付 | 2年間 | 4万円/月 | － | 本学より2名以内 | 米盛誠心育成会 | 大学院係<br>5月1日(金)<br>17時 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | 終了 | 公益財団法人松藤奨学育成資金 | ● | | (1)長崎県内に住所を有する者の子弟で大学に在学している者、あるいは大学に進学希望の者<br>(2)交通事故によって家計支持者又は保護者が死亡するか、当該事故に起因する重度後遺障害のため就業不能の結果、経済的に支障が生じ就学の継続もしくは上級学校への進学が困難になった者 | 貸与（無利子） | 卒業まで | 42,000円/月 | 可 | - | 松藤奨学金 | 大学院係<br>5月8日(金)<br>17時 |
| 31 | 終了 | 公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成団 | ● | ● | 以下の要件を満たす者<br>(1)沖縄県内に住所を有する子弟(両親又はいずれかが沖縄県内に住民登録していること)<br>(2)国内の大学及び大学院に座御額している者<br>(3)学業、人物ともに優秀である者<br>(4)JASSO、地方公共団体、民間団体から貸与を受けていないもの | 貸与（無利息） | 標準修業年限 | 【学部】<br>自宅外：50,000円<br>【博士前期課程】<br>70,000円<br>【博士後期課程】<br>100,000円 | 給付のみ可 | 約60人 | 沖縄県国際交流・人材育成団 | 直接応募<br>5月8日(金)<br>必着 |
| 32 | 終了 | 公益財団法人中村積善会 | ● | ● | (1)日本国内の大学・大学院(修士・博士)に在学する日本人及び海外からの留学生(在留資格が「留学」とある者)<br>(2)優秀な学生で経済的理由によって就学の困難な者<br>(3)留学生は私費留学生であること<br>(4)学長等の推薦を受けた者<br>(5)以下の者は対象外です<br>・出願時の年度末時点(翌年3/31)の年齢が40歳以上の者<br>・勤務先から派遣されて在学する者<br>・学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者<br>・秋入学者で最終学年の者<br>・休学中の者 | 給付 | 最短修業期間 | 50,000円/月 | 可 | 本学より1名 | 中村積善会 | 大学院係<br>5月11日(火)<br>17時 |
| 33 | 終了 | 大成学術財団 | B2 | | 以下すべてを満たす者<br>(1)申請する年度の4月現在、建築、土木、都市開発等、建築に関する学問を専攻している又は希望している大学2年次に在籍する者<br>(2)在学する大学の学長、学部長、研究科・専攻長、指導教官の推薦する者<br>(3)前年度までのGPAが3.00以上の者 | 給付 | 最長3年間 | 6万円/月 | 可 | 約10名（全国） | 大成学術財団 | 大学院係<br>5月12日(火)<br>17時 |
| 34 | 終了 | 三和酒類地域文化振興会奨学金 | B1 | M1 | (1)大分県内の高校を卒業し、大学もしくは大学院に在籍する1年生<br>(2)出願する年度の4月現在、大学(満23歳以下)または大学院(満25歳以下)1年に在籍する者<br>(3)高校3年間の評定平均が4.00以上、大学院生はB1～B4の累積GPAが3.00以上<br>(4)世帯合計給与収入が700万円未満または自営業等の収入350万円以下 | 給付 | 最短修業期間 | 3万円/月 | 一部可 | 15名（全国） | 三和酒類 | 大学院係<br>5月14日(木)<br>17時 |
| 22 | 終了 | 三菱UFJ信託奨学財団 | B2・B3 | | 下記項目すべてを満たす者<br>(1)財団主催行事への出席を優先出来る者<br>(2)財団の指定する大学かつ財団指定の学部に在籍してること<br>(3)最短修業年限までの給付期間が1年以上見込まれる者<br>(4)心身ともに健康で学業成績、人物ともに優れており在学する学校長等推薦する者<br>(5)将来、民間企業・宮内庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれからの活動に関連する学術の研究を志す者<br>(6)学費の支弁が困難と認められる者 | 給付 | 最短修業期間 | 7万円/月 | 可 | 本学より1名 | 三菱UFJ信託奨学財団 | 大学院係<br>5月15日(金)<br>17時 |
| 36 | 終了 | 公益財団法人バロック村井博之財団 | ● | | (1)日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在学する大学生<br>(2)日本人学生及び外国人留学生<br>(3)他の給付型奨学金を受給していない者<br>(4)本財団が企画する行事への参加に協力することが出来る者 | 給付 | 1年間 | 40万円/年 | 不可 | 約30名（全国） | 公益財団法人 バロック村井博之財団 オフィシャルウェブサイト | 直接応募<br>5月15日(金)<br>当日消印有効 |
| 37 | 終了 | 一般財団法人鷹野学術振興財団 | B1・B2・B3 | M1 | 下記を全て満たす方<br>(1)国内の大学・大学院生で「科学技術関係」を専攻している学生<br>(2)2026年4月1日現在、大学1～3年、博士前期課程1年に在籍していること<br>(3)卒業後は「製造業への就職」を希望していること<br>(4)過去に当財団に採用されたことが無いこと<br>(5)外国人の場合は日本語の会話・読み書きに習熟していること | 給付 | 1年間 | 60万円/年2回 | 一部可 | 若干名 | ホーム - 一般財団法人鷹野学術振興財団 | 直接応募<br>5月15日(金)<br>必着 |
| 38 | 終了 | 公益財団法人サカタ財団 | B2 | M1 | 以下いずれかに該当する学生<br>(1)2026年4月現在、日本国籍を有する学生<br>(2)大学2年生に在籍する者<br>(3)大学院に在籍し、博士前期課程1年生に在籍する者<br>(4)重複受給をしないこと ※<br>但しJASSO及び所属大学の奨学金制度は除く | 給付 | 1～2年間 | 7万円/月 | 一部可 | 15名（全国） | 給付型奨学金 \| 公益財団法人 サカタ財団 | 直接応募<br>5月15日(金)<br>15時 |
| 39 | 終了 | 公益財団法人日本通運育英会 | ● | | 以下すべてを満たす方<br>(1)交通事故により保護者を失うか、保護者等が交通事故により重度の心身障害を負った方。あるいは学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。<br>(2)2026年4月1日現在で18歳以上25歳以下の方<br>(3)(1)が原因で経済的に修学が困難な方<br>(4)学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方 | 給付 | 最短修業期間 | 3万円 | 可 | 20名（全国） | 日本通運奨学金 | 直接応募<br>5月15日(金)<br>必着 |
| 40 | 終了 | 鹿児島育無和子育英資金 | B1 | | (1)2026年4月に日本の大学に入学する大学1年生<br>(2)ひとり親世帯または父母共にいない世帯の者<br>以下の条件が1つ以上該当する者<br>・鹿児島県内に本人または親が居住している<br>・鹿児島県内の高等学校を卒業する者<br>・鹿児島県内の大学に通学する者<br>・世帯収入が応募要件を満たしている者<br>・高校時の平均評定が3.5(全履修科目)以上の者 | 給付 | 4年間 | 100万円/年 | 可 | 2名（全国） | 助成業務支援システム \| Graain（グラーイン）<br>アカウント作成し、助成プログラムより検索・応募 | 直接応募<br>5月17日(日)<br>15時 |
| 53 | 終了 | あしなが育英会 | ● | | 保護者(父または母など)が、病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死(自殺)などで死亡または保護者が1級から5級の障害認定を受けていて、経済的な援助を必要としている子ども。 | 貸与 | 最短修業期間 | 【一般】<br>4万円/月<br>【特別】<br>5万円/月 | 可 | 200名（全国） | 奨学金について \| あしなが育英会 | 直接応募<br>5月20日(水)<br>消印有効 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 終了 | 公益財団法人<br>アキレス育英会 | B1 | | 学術優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難 | 貸与 | 所定修学期間 | 【自宅通学】<br>3万円/月<br>【自宅外通学】<br>4万円/月 | 可 | 16名(全国) | アキレス育英会 | 大学院係<br>5月20日(水)<br>15時 |
| 41 | 終了 | JEES・安嶋<br>みらい支援奨学金 | B2 | | 以下、全てに該当する者<br>(1)R8.4に日本国内の大学の学士課程2年次に正規生として在籍する者<br>(2)日本国籍を有する者<br>(3)経済的支援を真に必要とするもの<br>(4)修学目的が明確で支援の効果が期待できる者<br>(5)心身ともに健康であり、かつ品行方正で学業優秀な者<br>(6)過去に本奨学金を受給したことがない者<br>(7)奨学金の支給期間中、他の奨学金を受給しない者<br>(8)R8.4に在籍する大学の長の推薦を受けることが出来る者 | 給付 | 最長3年間 | 10万円/月 | 不可 | 5名<br>(全国) | JEES・安嶋みらい支援奨学金 | 大学院係<br>5月20日(水)<br>17時 |
| 42 | 終了 | T&D保険グループ<br>学生応援基金 | B1 | | 以下いずれの項目にも該当する者<br>(1)2026年4月に日本国内の大学に入学する大学1年生<br>(2)2026年4月1日現在、21歳以下の者<br>(3)病気・事故等で両親または父母いずれかを亡くした者<br>(4)R7の課税標準額の世帯合算額を満たしていない者 | 給付 | 最短修業期間 | 60万円/年 | 可 | 5名<br>(全国) | 助成業務支援システム｜Graain（グラーイン） | 直接応募<br>5月20日(水) |
| 63 | 終了 | 公益財団法人<br>山田満育英会 | ● | ● | (1)国内の大学・大学院に在籍している者で当財団の支援目的である理学・工学・情報学・医学(医用工学)の分野で修学しており、医工系の技術開発職または医工系の技術開発に関する研究職を目指す者<br>(2)人物・学業について優秀で、経済的な理由により修学が困難であると認められる者<br>(3)大学長等の推薦を受けた者 | 給付 | | 4万円/月 | 可 | 20名<br>(全国) | 山田満育英会 | 大学院係<br>5月25日(月)<br>15時 |
| 43 | 終了 | 公益財団法人<br>中谷財団 | 進学予定のB4 | ● | ・生命科学と理工学の融合境界線において博士豪取得を目指すとともに取得後に実現したいビジョンを描き、その実現に向けて日本の大学院(博士前期・後期)に入学予定または在籍中の者<br>・2026年秋季及び2027年春季に大学院入学予定の学部4年生<br>・本奨学金の給付期間が1年以上の者<br>・日本国籍または日本の永住権を有する者 | 給付 | 最短修業期間 | 博士前期：12万円/月<br>博士後期：20万円/月 | 可 | 11名<br>(全国) | 中谷財団 | 直接応募<br>5月25日(月)<br>15時 |
| 55 | 終了 | 公益財団法人<br>関育英奨学会 | B2・B3・B4 | | 大学2・3・4学年に在学し、人物・学業ともに優秀かつ健康でありながら、学資に支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者。 | 貸与 | 最短修業期間 | 3万円/月 | 一部可 | - | 関育英奨学会 | 大学院係<br>5月27日(水)<br>15時 |
| 44 | 終了 | TOKAIグループ<br>みらい応援財団 | B1・B2・B3 | | 以下いずれも該当する者<br>(1)日本国内の4年生大学に在学する学生であること<br>(2)2026年4月現在、大学の学部の在学する学生であること<br>ただし、最終学年に在学する者は除外する<br>(3)2026年3月31日時点で、28歳以下であること | 給付 | 1年間 | 50万円/年 | 一部可 | 20名<br>(全国) | 一般財団法人<br>TOKAIグループみらい応援財団 | 直接応募<br>5月29日(金)<br>15時 |
| 47 | 終了 | 一般財団法人<br>ハウスクラフト<br>建築財団 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内大学の**建築学科に在籍する学部3年生**であること<br>(3)王墓締め切り時点で年齢25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | ハウスクラフト建築財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 48 | 終了 | 公益財団法人<br>日本知人材<br>育成財団<br>正林真之<br>記念奨学金 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学系に在学する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 正林真之記念奨学金｜公益財団法人 日本知人材育成財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 49 | 終了 | 公益財団法人<br>田中孝典<br>記念教育財団 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学系に在学する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 公益財団法人田中孝典記念教育財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 50 | 終了 | 公益財団法人<br>KUROKI<br>FOUNDATION | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)両親又は片親がいない世帯に属していること<br>(3)国内の大学に在籍する学部3年生であること<br>(4)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(5)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(6)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 公益財団法人<br>KUROKI<br>FOUNDATION | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 51 | 終了 | 一般財団法人<br>丹下未来<br>創造育英財団 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学部に在籍する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 一般財団法人 丹下大未来創造育英財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 52 | 終了 | 公益財団法人<br>宮古誠一<br>記念教育財団 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学部に在籍する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 公益財団法人 古宮誠一記念教育財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 60 | 終了 | 公益財団法人<br>谷育英財団 | B3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学部に在籍する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2年間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 公益財団法人<br>谷育英財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61 | 終了 | 公益財団法人<br>木原財団 | B<br>3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)国内の大学の理工学部に在籍する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2<br>年<br>間 | 48万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 奨学金 - 公益財団法人 木原財団 | 直接応募<br>5月31日(日)<br>必着 |
| 45 | 終了 | 公益財団法人<br>英進館 | B<br>1<br>・<br>B<br>3<br>・<br>B<br>4 | | (1)前年度までの成績(GPA)が3.00以上の者<br>※1年生は入学試験の成績が特に優れていると認められた者または出身高校における成績が特に優れていると認められた者<br>(2)学費の支弁が困難と認められた者<br>給与所得者・・・・・900万円以下<br>給与所得者以外(自営業当)・・・・・450万円以下 | 給付 | 最<br>短<br>修<br>業<br>期<br>間 | 4万円/月 | 可 | 本工学部より3名 | 英進館 | 大学院係<br>6月8日(月)<br>17時 |
| 62 | 終了 | 公益財団法人<br>平石教育財団 | B<br>1 | | 以下、いずれも該当する者<br>(1)2026年4月1日に日本国内の4年制大学に在学する大学1年生<br>(2)経済的な支援を必要とする者<br>(3)世帯年収が300万円以下である者(年収目安約430万円) | 給付 | 4<br>年<br>間 | 36万円/一括 | 可 | 10名(全国) | 平石教育財団 | 直接応募<br>6月12日(金)<br>必着 |
| 35 | 終了 | 公益財団法人<br>宮崎県奨学会 | B<br>1<br>※<br>B<br>2<br>・<br>B<br>3<br>・<br>B<br>4<br>※ | | 以下、いずれの条件をも満たす者<br>①宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が見や財県内に居住している者<br>②令和8年4月に大学に入学したもの<br>※但し免除奨学金以外の貸与については、在学生の応募も受け付ける。個別問合せ必要 | 貸与<br>(無利子) | 正<br>規<br>就<br>業<br>期<br>間 | 25,000円/月 | 一部可 | 5名程度<br>(うち免除型奨学金2名) | 宮崎県奨学会 | 大学院係<br>【免除型】<br>5月14日(木)<br>【貸与型】<br>6月15日(月)<br>17時まで |
| 64 | 終了 | 一般財団法人<br>唐神基金 | ● | | 設立主旨を理解し、かつ下記項目全て該当する者<br>(1)該当年度4月時点で、学科課程の1・2・3・4年に正規生として在学する者<br>(2)学業・人物共に優秀かつ心身ともに健康である者<br>(3)2025年度(R7)の同一生計の世帯年収が600万円以下である者<br>(4)「食体験」に関連する、一次産業や観光業界に興味があり、自分なりの提案を持っている者 | 給付 | 1<br>年<br>間 | 24万円/年 | 可 | 10名(予定) | 唐神基金 | 大学院係<br>6月16日(火)<br>15時まで |
| 46 | 終了 | 公益財団法人<br>天野工業技術<br>研究所 | | D<br>1 | 以下、全てに該当する者<br>(1)申請時に後期課程1年次に在籍する者。但し、外国籍の場合は「外国籍在留資格」を有する者に限る。<br>(2)2026年3月末日で満26歳以下の者<br>(3)人物・学術共に優れ、健康であり、学資支援が必要と認められた者<br>(4)工業技術の発展に向け、機械・精密機械、電気・電子材料、化学、環境・エネルギー分野の研究に意欲的に取り組む者<br>(5)応募にあたり学長、学部長又は研究科長に加え指導教員の推薦を受けることが出来る者<br>(6)他の機関等団体から金銭的支援や報酬を受けていないこと(社会人学生は応募不可可)。但し、受給額が65万円以下で、その支援機関が併給を認めた場合は除く。選考では単独受給が優先 | 給付 | 3<br>年<br>間 | 15万円/月 | 不可 | 20名(全国) | 大学院奨学金 \| 公益財団法人天野工業技術研究所 | 直接応募<br>6月1日(月)<br>～<br>6月30日(火)<br>※推薦書の公印対応は<br>6月26日(金)<br>まで |
| 56 | 終了 | 公益財団法人<br>木下勇記念財団 | B<br>3 | | 以下すべてに該当すること<br>(1)日本国籍を有すること<br>(2)九州地方に所在する大学に在籍する学部3年生であること<br>(3)応募締め切り時点で25歳以下であること<br>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること | 給付 | 2<br>年<br>間 | 48万円/一括 | 可 | 15名(全国) | 奨学金 \| 公益財団法人 木下勇記念財団 | 直接応募<br>6月30日(火)<br>必着 |
| 57 | 終了 | 公益財団法人<br>清川秋夫<br>育英奨学財団 | ● | ● | 鹿児島県内の大学に在学する者のうち、第一次産業に貢献する志しを持つ学生 | 給付 | 1<br>年<br>間 | 15万円/一括 | 可 | 65名 | 公益財団法人清川秋夫育英奨学財団 | 直接応募<br>6月30日(火)<br>必着<br>※推薦書の公印対応は6月26日(金)15時まで |
| 65 | 終了 | 公益財団法人<br>原田記念財団 | B<br>3 | | 九州各県に所在する大学の機械工学系学科の学部3年生に在学する者のうち、佐賀県に関係のある者、またはその子弟で以下の(1)(2)の何れにも該当する者<br>(1)ポンプ産業に関係の深い水力学、流体力学、流体機械等自然科学の分野に興味を有する学部生で将来社会の中枢人物になりうる素質のある者<br>(2)学業、人物ともに優秀で学費の支弁が困難と認められる者<br>※佐賀県に関係のある者※<br>佐賀県内の公的な研究機関と共同研究を実施している、或いはその研究機関の設備を利用した研究に従事している者なども含む | 給付 | 2<br>年<br>間 | 37,000円/月 | 可 | 3名程度 | 原田記念財団 | 大学院係<br>7月22日(水)<br>15時 |
| 66 | 終了 | 公益財団法人<br>原田記念財団 | | M<br>1 | 九州各県に所在する大学の機械工学系専攻の大学院博士前期課程の1年に在学する者のうち、佐賀県に関係のある者、またはその子弟で以下の(1)(2)の何れにも該当する者<br>(1)ポンプ産業に関係の深い水力学、流体力学、流体機械等自然科学の分野を専攻している大学院生(博士前期課程)で、将来社会の中枢人物になりうる素質のある者<br>(2)学業、人物ともに優秀で学費の支弁が困難と認められる者<br>※佐賀県に関係のある者※<br>佐賀県内の公的な研究機関と共同研究を実施している、或いはその研究機関の設備を利用した研究に従事している者なども含む | 給付 | 2<br>年<br>間 | 53,000円/月 | 可 | 7名程度 | 原田記念財団 | 大学院係<br>7月22日(水)<br>15時 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 67 | 終了 | 公益財団法人<br>原田記念財団 | | M2 | 九州各県に所在する大学の機械工学系専攻の大学院博士前期課程の2年に在学する者のうち、2027年4月から九州各県に所在する大学の機械工学系専攻の大学院後期課程に進学予定の者で、佐賀県に関係のある者、またはその子弟で以下の(1)(2)の何れにも該当する者<br>(1)ポンプ産業に関係の深い水力学、流体力学、流体機械等自然科学の分野を専攻している大学院生(博士前期課程)で将来社会の中枢人物になりうる素質のある者<br>(2)学業、人物ともに優秀で学費の支弁が困難と認められる者<br>※佐賀県に関係のある者※<br>佐賀県内の公的な研究機関と共同研究を実施している、或いはその研究機関の設備を利用した研究に従事している者なども含む | 給付 | 3年間 | 210,000円/月 | 可 | 3名程度 | 原田記念財団 | 大学院係<br>7月22日(水)<br>15時 |
| 68 | 終了 | 公益財団法人<br>原田記念財団 | | D1 | 九州各県に所在する大学の機械工学系専攻の大学院博士後期課程の1年に在学する者のうち、佐賀県に関係のある者、またはその子弟で以下の(1)(2)の何れにも該当する者<br>(1)ポンプ産業に関係の深い水力学、流体力学、流体機械等自然科学の分野を専攻している大学院生(博士後期課程)で将来社会の中枢人物になりうる素質のある者<br>(2)学業、人物ともに優秀で学費の支弁が困難と認められる者<br>※佐賀県に関係のある者※<br>佐賀県内の公的な研究機関と共同研究を実施している、或いはその研究機関の設備を利用した研究に従事している者なども含む | 給付 | 3年間 | 210,000円/月 | 可 | 2名程度 | 原田記念財団 | 大学院係<br>7月22日(水)<br>15時 |
| 74 | 終了 | 公益財団法人<br>日本科学未来財団 | ● | ● | ・大学、大学院に在籍する者。または次年度以降の入学が確定している者<br>・卓越した研究実績(日本学術振興会特別研究員採択者、学術団体、学会等から高い評価を得た方)またはそれに準ずる成果(実績)を有する方<br>・研究に強い情熱を持ち、さらなる成果が期待される方<br>・日本の研究環境改善に強い関心を持っている者<br>・将来的にリーダーシップを発揮する志を持つ方 | 給付 | - | 最大150万円/一括<br>※在学課程や学費、他の支援等考慮し個別に算出 | 可 | - | SCHOLARSHIP｜日本科学未来奨学金 | 直接応募<br>7月31日(金) |
| 75 | 修了 | 公益財団法人<br>大和記念育英財団 | ● | ● | ・国内の大学および大学院に在籍している者<br>・科学・工学分野で修学している者<br>・学業・人物共に優秀で、経済的な理由により修学が困難であると認められた者 | 給付 | 最短修業年限 | 2万円/月 | 可 | 13名<br>(全国) | 公益財団法人 大和記念育英財団<br>申請書<br>※推薦書は指導教員の先生に作成してもらってください。 | 直接応募<br>7月1日(水)～<br>7月31日(金)<br>当日消印有効 |
| 73 | 修了 | 一般財団法人<br>オカノ電機財団 | ● | ● | 以下すべて該当する者<br>(1)日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要と認められる者<br>(2)日本国内の大学及び大学院に在籍していること<br>(3)将来、社会的に有益な活動を目指す者<br>(4)機械工学系、電気電子工学系、情報工学系の分野に関する科目を履修できる学科に在籍していること<br>(5)給付期間すべてに、修学している学校に在籍していること<br>(6)大学1年生の場合、高校3年次における評定平均が3.5以上、2年生以上は標準化GPAが2.4以上の者 | 給付 | 1年間 | 3万円/月 | - | 8名(全国) | 募集要項 - オカノ電機財団 | 直接応募<br>8月15日(土)<br>必着 |
| 77 | 終了 | 公益財団法人<br>JESS・住友金属鉱山地域貢献奨学金 | B1・B2 | | 以下すべて該当する者<br>(1)R8年4月に日本国内の大学の学士1年又は2年の正規生として在籍する者<br>(2)日本国籍を有する者。又は日本への永住を許可されている者。<br>(3)東京都多摩地域、兵庫県播磨地域、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある者<br>(4)過去に本奨学金を受給したことが無い者<br>(5)経済的援助を必要とする者<br>(6)心身ともに健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者<br>(7)住友金属鉱山㈱が主催する地域貢献活動に関する交流プログラムに積極的に参加する意欲のある者<br>(8)R8.4に在籍する大学の長の推薦を受けることが出来る者 | 給付 | 在籍課程修了まで | 10万円/月 | - | 12名(全国) | 住友金属鉱山地域貢献 | 大学院係<br>8月21日(金)<br>15時まで |
| 79 | 終了 | 山口県高度産業人材確保事業<br>【奨学金返還補助制度】 | | M1 | 以下すべて該当する者<br>(1)応募時点で奨学金の貸与を受けている方、または貸与申請している方(JASSO 及び地方公共団体等の返還義務を負うもの)<br>(2)大学院修士課程の1年生で、理工学研究科に在籍する者<br>(3)大学院修士課程を修了した年の翌年4月末日までに製造業を営む企業の山口県内の事業所または情報サービス業を営む企業の山口県内の事業所で修業を希望する者 | - | - | 補助金上限211万2000円まで | - | 20名(全国) | 働くなら山口県!高度産業人材確保事業奨学金返還補助制度 - 山口県ホームページ | 直接応募<br>9月30日(水) |
| 78 | 終了 | 公益財団法人<br>沖縄県国際交流・人材育成財団 | ● | ● | 以下の条件を満たす者<br>(1)沖縄県内に住所を有する者の子弟(両親又はいずれかが沖縄県内に住民登録していること)<br>(2)日本国内の大学または大学院に在学している者。ただし、正当な理由なく標準修業年限を超過し在学する者は除く<br>(3)学業、人物ともに優秀である者<br>(4)日本学生支援機構、地方公共団体若しくは民間育成団体等から奨学金の貸与を受けていない者(給付奨学金との併用は可能) | 貸与 | 3年間または4年間 | 【学部生】<br>45,000円/月<br>【博士前期課程】<br>70,000円/月<br>【博士後期課程】<br>100,000円/月 | 一部可 | 若干名 | 沖縄県国際交流・人材育成財団 ホームページ | 直接応募<br>10月2日(金) |
| 81 | 終了 | 公益財団法人<br>林レオロジー記念財団 | B2・B3・B4 | M1 | 以下の条件を満たすもの<br>(1)R9年4月に大学3年もしくは大学4年に進級する人、または大学院前期課程の1年生に進学を希望する人、もしくは大学院前期課程の2年生に進級する人。<br>(2)品行方正で学習意欲の高い人。<br>(3)学業成績が一定水準以上の人。 | 給付 | 3年間または4年間 | 【学部生】<br>40,000円/月<br>【博士前期課程】 | 一部可 | 学部生30名<br>大学院生70名 | 林レオロジー | 大学院係<br>10月6日(火)<br>15時まで |
| 93 | 終了 | 鹿児島<br>パイロットクラブ | ● | ● | 学業、研究に精励している者 | 給付 | - | 10,000円/一括 | - | 工学部及び理工学研究科より1名 | 鹿児島パイロット奨学金 | 大学院係<br>10月13日(火)<br>15時 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 83 | 終了 | 公益財団法人<br>PHOENIX奨学金 | ● | | (1)全国の大学の学部に在学している者<br>(2)就学のために経済的支援を必要とする者<br>(3)向学心に富み、品行方正である者<br>(4)学業に継続して取り組んでおり、前年度の学業成績証明書を提出できる者<br>(5)生計維持者の住民税課税証明書に記載された「合計所得金額」の合計額が400万円以下であること<br>(6)民間団体が実施する他の給付型奨学金を本奨学金と併用して受けない者<br>※但し、国、地方公共団体、日本学生支援機構その他公的機関が実施する奨学金については、この限りではない | 給付 | － | 36万円／一括 | 一部可 | 30名(全国) | PHOENIX奨学金 | 大学院係<br>10月13日(火)<br>15時 |
| 86 | 終了 | 公益財団法人<br>アカデミア育英財団<br>【給付型推薦】 | ● | ● | 令和9年4月時点で、大学生または大学院生である見込みの者 | 給付 | 1年間 | 40,000円／月 | 可 | 工学部及び理工学研究科より1名ずつ | アカデミア財団 | 大学院係<br>10月13日(火)<br>15時 |
| 88 | 終了 | 公益財団法人<br>アカデミア育英財団<br>【給付型推薦】 | ● | ● | 令和9年4月～令和10年3月の期間にいて海外への留学、または大会・コンクールに出場する者 | 一時金 | － | 最大50万円 | 可 | 工学部及び理工学研究科より1名ずつ | | 大学院係<br>10月13日(火)<br>15時 |
| 70 | 終了 | 公益財団法人<br>東洋アルミ軽金属<br>みらい財団 | | M2・D1 | (1)日本国籍を持ち、国内で軽金属(アルミニウムあるいはマグネシウムやチタン等を主成分とする金属材料)に関する学科目を選考する大学院生<br>(2)我が国の学術研究の将来を担う優れた大学院生で、現在修士課程に在学中で、その後博士課程を希望する者 | 給付 | 3年間または4年間 | 【修士課程在学中】<br>10万円／月<br>【博士課程在学中】<br>25万円／月 | 可 | 若干名 | 公益財団法人 東洋アルミ軽金属みらい財団｜奨学金 | 直接応募<br>10月15日(木) |
| 80 | 終了 | 公益財団法人<br>吉田海運奨学財団 | B1 | | 九州内の大学に2026年4月に入学した者<br>奨学生として相応しい人物であること | 給付 | 最短修業年限 | 20,000円／月 | 可 | 10名 | 吉田海運奨学財団 － 吉田海運グループ | 直接応募<br>10月31日(土) |
| 87 | 終了 | 公益財団法人<br>アカデミア育英財団<br>【給付型一般】 | ● | ● | 令和9年4月時点で、大学生または大学院生である見込みの者 | 給付 | 1年間 | 40,000円／月 | 可 | － | アカデミア財団 | 直接応募<br>10月31日(土)<br>消印有効 |
| 89 | 終了 | 公益財団法人<br>アカデミア育英財団<br>【給付型一般】 | ● | ● | 令和9年4月～令和10年3月の期間にいて海外への留学、または大会・コンクールに出場する者 | 一時金 | － | 最大50万円 | 可 | － | | 直接応募<br>10月31日(土)<br>消印有効 |
| 85 | 終了 | 公益財団法人<br>本庄国際奨学財団 | B4 | ● | 全てに該当すること<br>(1)日本国籍を持つ者<br>(2)2027年4月時点で大学院に在籍している者。または2027年4月に入学を予定している者。申請時既に在籍している者も対象<br>(3)2027年4月時点で在籍期間が残り1年以上あること<br>(4)博士課程に既に在籍中の場合は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時35歳以下であること<br>(5)修士課程は既に在籍中の場合は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下であること<br>(6)大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者<br>(7)国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同級生ネットワークに積極的に参加または協力できる者<br>※奨学金概要欄をよく読んでください。 | 給付 | 最短修業年限 | 18～23万／月<br>※支給期間により異なる | － | 若干名<br>(全国) | 日本人大学院生奨学金｜財団法人 本庄国際奨学財団 | 直接応募<br>10月31日<br>(土) |
| 84 | 終了 | 公益財団法人<br>岩佐教育財団 | ● | | 日本の大学に在学する学生で、経済的に学費の支弁が困難で、誠実に学業に励む意思を有し、将来への夢や志を持った学業優秀者である者 | 給付 | － | 120万円／年 | 可 | 20名(全国) | 公益財団法人 岩佐教育文化財団 | 直接応募<br>11月6日(金)<br>消印有効 |
| 92 | 終了 | 公益財団法人<br>日本高専・大学支援財団 | B1・B2 | | (1)出願する4月1日現在、大学に在学し理学・工学系の分野を専攻する学生で原則35歳以下であること<br>(2)出願する年の4月1日現在、大学1年生・2年生に在学しているこ<br>(3)日本国籍を有すること<br>(4)学業、人物ともに優秀であり、健康であること | 給付 | 正規の修学期間 | 25,000円／月 | 可 | － | 日本高専・大学支援財団 | 大学院係<br>11月6日(金)<br>15時 |
| 94 | 終了 | JRAシステムサービス奨学金 | B3 | M1 | (1)情報・電気電子・機械系の学部に在籍する3年生または修士1年生<br>(2)成績優良者（GPA3.2(4.0スケール換算)以上。修士課程の場合は、学部在学時の成績が累積GPA3.2以上）<br>(3)日本人であること(日本に永住を認められている者も含む)<br>(4)在籍期間が最短修業年限であること(留年していないこと)<br>(5)他団体等からの給付型奨学金と併用していないこと(JASSOを除く) | 給付 | 最長18ヶ月 | 10万円／月 | JASSOのみ可 | 若干名 | JRAシステムサービス奨学金【給付型】 2026年度　奨学生募集 － サステナブル奨学金基金（JRAシステムサービス株式会社）｜ガクシー | 直接応募<br>11月13日(金) |
| 71 | 終了 | 公益財団法人<br>キーエンス財団 | 進学予定のB4 | | 以下、いずれの項目の該当する者<br>(1)2027年4月日本の大学院(博士前期課程)に入学する者<br>(2)2027年4月1日時点で、24歳以下である者<br>(3)経済的な支援を必要とする者<br>(4)入学予定の大学院が当財団からの求めに応じ、選考に必要な情報を提供することに同意できる者 | 給付 | 最短修業年限 | 12万円／月 | 一部可 | 100名<br>(全国) | 給付型奨学金 大学院(修士課程)対象｜キーエンス財団 | 直接応募<br>11月13日(金)<br>午前10時 |
| 90 | 終了 | 公益財団法人<br>バロック村井博之財団 | ● | ● | (1)日本国内に居住する日本国内の大学、大学院に在学する者<br>(2)応募は主体的活動を行うグループの代表が行い、同グループからの出願は1件とする<br>(3)本財団が企画する行事への参加に協力できる者<br>(4)助成期間終了時(2028年3月31日)まで学生であることが見込まれる者 | 給付 | 1年間 | 上限80万円 | － | － | 公益財団法人 バロック村井博之財団 オフィシャルウェブサイト | 直接応募<br>11月13日(金)<br>当日消印有効 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 91 | **終了** | **一般財団法人<br>TCS奨学会** | B2・B3・B4 | M1・M2 | (1)日本国内に居住し、日本国籍を有していること<br>(2)日本国内の4年制大学及び修士課程大学院に2026年に在学しており、2027年4月時点でB2～B4またはM1、M2に進級見込みであること<br>(3)最短修業年限で卒業見込みであること<br>(4)修得単位数が標準単位数以上で、直近の学業成績につきGPAが3.3以上であること<br>(5)学修計画書の提出により、将来社会で自立し活躍する目標を持って大学等における修意欲を有していることが確認できること<br>(6)財団が企画する行事への参加に協力できること<br>(7)応募に際し、世帯の所得水準に関する制限はありませんが、審査基準事項の一部となります<br>(8)他の奨学金受給の有無に関する制限はありません | **給付** | **1年間** | 5万円／月 | 可 | **B2～B4**<br>15名程度<br>**M1～M2**<br>15名程度<br>※2027年4月時点の学年 | 奨学生募集について ｜ TCS奨学会 | **直接応募**<br>**11月13日(金)**<br>**当日消印有効** |
| 72 | **終了** | **公益財団法人<br>キーエンス財団<br>【日本学生支援機構貸与奨学金返還支援】** | B4 | | 以下、いずれの項目の該当する者<br>(1)2027年3月に日本の大学を最短修業年限にて卒業する見込みがある者(早期卒業者を含む)<br>(2)2026年4月1日現在、23歳以下である者<br>(3)JASSOの貸与奨学金(第一種・第二種問いません)を受けている<br>(4)返還期限猶予の対象者は除く<br>(5)当財団の給付型奨学金を受けたことがない者<br>(6)在学大学から当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者<br>(7)勉学に励み価値ある大学生活を送っている大学生 | **財団よりJASSOに直接返還** | **－** | **最大240万円まで** | － | **400名<br>(全国)** | 返還支援｜キーエンス財団 | **直接応募**<br>**11月20日(金)**<br>**午前10時** |